

地球

第二卷第六號

大正三十一年十二月一日發行

主要目次

圖版 第十四 温泉火山寬政熔岩流の末端(千本木)

地文及人文學上より觀たる九州西北部(中)……………理學博士 小川 琢

黑鏽々床中の螢石……………理學士 木下 龍

富江燦岩墜道の研究……………川 原 治

朝鮮陸橋(ハルビン)……………

西方亞細亞に於ける新興諸國……………文學士 寺田 貞 次

渡歐日記(第五回)……………

地理教材としての地形圖(五)……………佐倉近傍

講話 地球の生れるまで(中)……………理學博士 松山 基 範

雜報

新刊紹介

質疑應答

京都帝國大學理學部

地質學教室內

地球學團

第三卷第一號豫告

海岸號

海岸に就て.....	理學博士	小川琢治
博多灣の海岸.....	醫學博士	中山平治郎
史前時代以來上總東南海岸の昇降について.....	理學博士	山崎直方
海岸の植物.....	理學博士	郡場寬
海岸の動物.....	同	川村多實二
越前東尋坊.....	工學博士	比企忠
私の見た地中海の沿岸.....	文學博士	濱田耕作
日本海海岸に於ける砂丘上の遺跡.....	梅原末治
先志摩の海岸.....	理學士	辻村太郎
渥美知多兩半島と其海岸.....	理學士	石川成章
清水灣(地理教材としての地形圖).....	同	横山次郎
黄海の海岸.....	文學士	藤田元春
北陸海岸線の移動.....	同	小牧實繁
其他著名大家執筆.....

地球學團第一回講習會

今回地球學團に於て團員諸君のためは、第一回の講習會を開催することを發表いたしました處、申し込み締切りの十一月末日までに、發表當初の定員の三倍以上の申し込みを受けました。學團としては、熱心なる應募諸君の意を諒として、亦たこの際能ふ限り多くの團員諸君を迎へて、生誕一年に近い「地球」の異常なる發育の悦びを共にしたいと思つて居ります。

講習會々員數も既に十一月號に於て發表いたしました通り、六十名に致しましたが、更に、下記諸君の御來會を歓迎するに致しましたから御參加下さい。

◎使用地圖について

十一月號でお知らせいたしました使用地圖の所に「外敷葉」と掲げました分は左の通り決定いたしました。

五萬分。一。日光(日光號)、神戸(京都及大阪號)富士山(甲府號)。

◎使用器械について

使用器械は一切自辦です。當日會場に於て少數だけは御分與が出來ます。器械も地圖も是非御持參にならなければ聽講ができないのではありません。

◎講習會場の道順

京都驛前から市内電車の「熊野神社前」行きに乗り「熊野神社前」で下車すれば會場まで北

東に約二十六丁位。驛前から北上する電車「植物園」行きに乗れば「烏丸今出川」で乗り換へて「河原町今出川」で下車、會場まで東方に十丁位。百萬遍の東、大學理學部生物學教室又は地質學教室と御聞き下さい。

◎宿泊所について

既に學團まで申し込まれた方のために左記の處を指定して置きましたから御訪ね下さい。亦た今後の宿泊所についての御申し込みも同所より御便宜を計ります。

京都市上京區田中門前町四三、村上靜宜館

〔百萬遍知恩寺西門横、會場へ三丁〕

宿泊料。食費その他一切にて一日分一人一圓八十錢のこと。

地球

第二卷 第六號

地球 第二卷 第六號 目次

圖版 第十四 溫泉火山寬政熔岩流の末端(千本木)

地文及人文學上より觀たる九州西北部(中)……………理學博士 小川 琢 治 (五四九)

黑鑛々床中の螢石に就て……………理學士 木 下 龜 城 (五五〇)

富江熔岩隧道の研究……………川 原 厂アキヲ (五六七)

朝鮮 陸 橋(トラウツ)……………(五六二)

西方亞細亞に於ける新興諸國……………(五六八)

渡 歐 日 記(第五信)……………文學士 寺 田 貞 次 (五七七)

地理教材としての地形圖(五)佐倉近傍

(六〇五)

講話

地球の生れるまで(十)

理學博士 松山基範 (六〇九)

雜報

日本海々底の大半島

八重山列島の海底噴火

露西亞の新地名

葡國の激震

世界の生糸と其産額

デカストリー港灣の價值

山東の葉烟草

雲南の蒟蒻玉

南阿蝗虫の利用

新刊紹介

新支那論

シーボルト先生渡來百年紀念論文集

質疑應答

文檢豫備試驗問題解答

前 號 要 目

圖版 第十二 島原半島地質圖 第十三 島原半島想定構造圖

空中寫眞による測量の現勢……………陸地測量部長 大 村 齊

戰場としての支那の地勢(二)……………理學博士 小 川 琢 治

樺太アイヌに關する人類學的探究紀行(下)……………醫學博士 清 野 謙 次

金峯山彙と熊本地震……………小 出 亮

地球内部の成分に就て(タンマン)……………

ローザンヌ會議(地圖二葉)……………

渡 歐 日 記(第四信)……………文學士 寺 田 貞 次

地理教材としての地形圖(四)……………河北潟……………

講 話

地球の生れるまで(九)……………理學博士 松 山 基 範

雜 報

新 刊 紹 介

質 疑 應 答

大正拾參年拾壹月壹日現在

地球學團々員名簿

地球學團員名簿

一
二

—

地 球

第二卷

第六號

二

地球學圖員名簿

卷

第

三

地 球

第二卷

第六號

四

地球學圖員名簿

地
球

第二卷

第六號

六

地球學圖員名簿

地
球

第二卷

第六號

八

地球學園員名簿

地 球

第二卷

第六號

一〇

地球學團規約

第一條 本學團を地球學團といふ。
 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
 第三條 事務所を京都市白川道分町京帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 一 雜誌並に講習會の刊行
 二 實地見學の指導
 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
 第六條 本學團員になりた人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

○ 株式會社へ御申込され度候
 ○ 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
 ○ 振替貯金にて御送金は、振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番内外出版株式會社宛に願上候
 ○ 前金切れの場合は、御申込の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ○ 特に請求書及領收書等を要する場合は、郵券參錢御送付下され度候

價定

一册	定價金五十錢	郵税金貳錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十三年十一月廿五日印刷納本
 大正十三年十二月一日發行

第二卷
 第六號

不許複製
 禁轉載

右代表者 藤田元春
 發行者 大谷仁兵衛
 印刷者 須磨勘兵衛
 印刷所 内外出版株式會社印刷部
 京都市北小路通新町四入
 京都市西洞院通七條南入

發行所

京都市下京區西洞院通七條南
 西洞院七條南

内外出版株式會社
 振替口座 大阪三二九五番
 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ十九

内外出版株式會社
 北隆館

所 捌 賣

東京 東上 東京 東上 東京 東上
 盛文 盛文 盛文 盛文 盛文
 文館 文館 文館 文館 文館
 社 社 社 社 社
 共盛 共盛 共盛 共盛 共盛
 社 社 社 社 社
 マガジン
 川瀨 川瀨 川瀨 川瀨 川瀨
 書 書 書 書 書
 店 店 店 店 店

CHIKYU - THE GLOBE

Vol. II. No. 6.

December 1924.

Pl. XIV. Unzen Volcano, Kyūshū.

Northwestern Kyūshū, a summary of Physical and Human Geography (2).....	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	549
Fluorite in Kuromono Deposits.....	
By K. Kinoshita, <i>R. S.</i>	554
Lava-Tunnels in the Fukaye District, Gotō-Islands.....	
By A. Kawara.....	567
Chūsen-Bridge, a geopolitical Review.....	581
Arising Nations in the Orient.....	588
Diary of a Geographer to Europe (5).....	
By T. Terada, <i>B. S.</i>	597
Topographical Maps recommended for Schools (5).....	605

To the Birth of the Globe (concluded).....	
By M. Matsuyama, <i>R. H.</i>	609

Geographical Notes — New Books — Inquiries.

Chikyu Gakudan

Geological Institute, Imperial University

Kyōto

大正十三年三月十八日
第三種郵便物認可
大正十三年十一月二十五日
印刷納本
（每月一冊）

地球第二卷第六號

定價金五拾錢

（郵稅壹錢）